



今月のテーマ 「離床センサー」以外の転倒予防ケアについて

「離床センサー」で対象者の行動を把握し、転倒・転落を未然に防ぐことが出来ますが、現場では、「離床センサー」以外でどのようなケアができるかを下記に挙げてみました。ご参考ください。

①徘徊による転倒

- ・転倒の危険性があるときの付き添いや声掛けを行う
- ・夜間観察や巡回数を増やす



離床センサーで対象者の徘徊・離棟を報知し動きを把握する

下記製品をご参考ください

離床センサー
タイプはこれら

徘徊コール・離床コール
対象者の徘徊を検知します

②トイレでの転倒

- ・排泄のパターンを把握 → 適時のトイレ誘導する
- ・おむつやポータブルトイレに頼らない排泄を目指す



ポータブルトイレを廃止
排泄時には看護師が
「車いす」サポート

テクノス通信 2015年4月号
リスクマネージャーインタビューより

- ・離床センサーでトイレの立ち上がりを報知する

離床センサー
タイプはこれら

トイレコール・離床センサー
トイレでの転倒を未然に防ぎます

③車いすのすり落ち、立ち上がり転倒

- ・車いすに長時間座らせたままにしないよう、車いすでも出来るアクティビティの工夫をする
- ・バランス間隔の向上や筋力アップの為の段階的なリハビリプログラムを組自立支援を測る（ふまねっと等）



「ふまねっと」による筋力アップ

テクノス通信 2015年1月号
リスクマネージャーインタビューより

- ・離床センサーで車いすからの立ち上がりを報知する

離床センサー
タイプはこれら

座コール
車いすからの立ち上がりを報知します

転倒しても骨折や怪我をしない環境づくり

- ・敷物やカーペットの固定、コード類の収納、移動を行う
- ・弾力のある床材やカーペット使用する
- ・低床ベッドの使用する
- ・転倒骨折軽減パンツの使用する



衝撃緩和マット
転倒骨折軽減パンツ等
使用する



- ・離床センサーでベッドからの起き上がりを報知する

離床センサー
タイプはこれら

コールマット・ベッドコール etc
ベッドからの起き上がりを報知し未然に、
立ち上がりを防ぎます